

## 21. その他

### 文献

市田敬一, 葉華, 小倉裕二, ほか. 全身按摩と局所あん摩の比較—皮膚温および深部温を指標として—. *日本手技療法学会雑誌* 2004; 15(1): 13-7. 医中誌 web ID 2006259812

#### 1. 目的

全身按摩と一側上肢あん摩が末梢循環に及ぼす効果を評価。

#### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (cross over) (RCT-cross over)

#### 3. セッティング

記載なし。

#### 4. 参加者

健康成人 男性 13人 29.4±5.7歳

#### 5. 介入

あん摩の手技は腹臥位の軽擦法・揉捏法・圧迫法

Arm 1: 一側上肢を除いた全身按摩群 (20分) 13人

Arm 2: 一側上肢のみのあん摩群 (20分) 13人

Arm 3: コントロール群 (安静腹臥位 20分) 13人

#### 6. 主なアウトカム評価項目

手部皮膚温・深部温、血圧、心拍数

#### 7. 主な結果

全身按摩では両側手部の皮膚温上昇がみられ、一側上肢按摩では刺激側に手部の皮膚温上昇がみられた。手部深部温・血圧・心拍数は有意な変化はなかった。

#### 8. 結論

全身按摩は非施術側の手部皮膚温の上昇を起こすが、一側上肢のみの按摩は非施術側の手部皮膚温の上昇は起こさない。

#### 9. 論文中の安全性評価

記載なし。

#### 10. Abstractor のコメント

全身と局所で按摩の有効性を比較した興味深い試験である。ただし、按摩手技を軽擦・揉捏・圧迫のみの表記しかしておらず再現性への配慮にかける。末梢循環の指標として温度情報を用いているが環境温の設定・記録の具体的既述がなされていない。皮膚温変化の機序として交感神経機能への影響を述べているが、血圧・心拍数の変化に有意差がなかったこととの考察がデータ取得のタイミングにあるとしていることは、デザインにも検討の余地があったのではないか。

#### 11. Abstractor and date

藤井亮輔 2011.12.9